

明治時代初期の医療



明治の初期、一部において本格的な西洋医学教育が開始されましたが、主流は、いまだ東洋医学でした。1874年、明治政府は、ドイツ医学を基礎医学の主軸に据え、西洋医学に基づく医術試験と医業開業許可を制度化する、新たな医制を制定します。これにより、西洋医学に基づく医療体制が定着していきます。また、1873年、牛痘種継所ぎゅうとうしゅけいじょを設立して、天然痘ワクチンにあたる牛痘苗ぎゅうとうびょうの大量製造と日本各地へ配布するしくみを整備していきました。しかしながらこの時代、検疫体制の不備や上下水道の未整備などにより、明治時代、天然痘てんねんとう、コレラなど感染症の流行に何度も悩まされました。

館内企画展アーカイブ

バーチャル展示室

THE VIRTUAL
EXHIBITION ROOM 360



館内企画展アーカイブ **バーチャル展示室360** > <https://www.tcmmit.org/360virtual/>

これまでにトヨタ産業技術記念館で開催した企画展をご紹介します。デジタルアーカイブです。

360度VRコンテンツで、臨場感溢れるバーチャル展示をお楽しみください。



トヨタ産業技術記念館

当サイトに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。

Copyright(C) Toyota Commemorative Museum of Industry and Technology All rights reserved.